

## 日立フラッシュマイコンボード KIT



HD 6 4 F 3 6 6 4 BP 仕様(ROM32K・RAM2K 内蔵・メインクロック 16MHz・1Hz が簡単に作れるサブクロック 32.768KHz を装備しています)フラッシュ ROM により 1 0 0 回以上書き込みが可能です。

パソコンよりフラッシュ ROM への書き込み制御回路 (RS232C ドライバー) が装備され、またモジュラー端子なので簡単に脱着が出来ます。ROM ライター等は不要です。

1 0 ビットの A/D コンバーター 4 Ch・タイマー・RS232C 1 Ch・I<sup>2</sup>C バスインターフェース内蔵の高機能マイコンキットです。

### 製作

部品は予告なく相当品・互換品に変更になることがあり、またメーカーにより型番が異なることがあります。製作前に部品表と照らし合わせてご確認ください。

極性のある部品 (間違えると破損してしまいます)

IC・ダイオード・電解コンデンサー・コネクタ・IC ソケット  
(部品表参照)

Q 1・Q 2・Q 3・C 1 1・C 1 2・D 1・C N 3

極性のない部品。

IC ソケット・抵抗・コンデンサー・セラロック・水晶発振子

### 取り付け手順

1) IC ソケット・抵抗・コンデンサー・ダイオード等、高さの低いものから半田付けします (シルク印刷されている面が部品取付け位置です)。

2) 三端子レギュレータ・セラロック・水晶発振子等、半田付けをします。

3) モジュラーソケット・ピンヘッダー等、半田付けをします。

ピンヘッダーはあらかじめ長い物が入っているので切って使用してください。

CN1 ( 2 6 P )・CN2 ( 2 6 P ) のピンヘッダーは半田面に取り付け、それ以外部品面に取り付けてください。

4) もう一度、部品の向き・半田付け等に間違いがないか確認をして、間違いがなければソケットに IC を差し込み基板の完成です。

#### 電源

このボードには5V 三端子レギュレータを装備していますので7V 以上15V 以下(100mA 以上)の電源を使用してください。

CN1、25P・26P PSIN(+) 7V~15V(100mA以上)

CN1、23P・24P PSIN(-) GND

外部に5Vがある場合

三端子を外しCN1、21・22P(+)5Vを(100mA以上)入力します。

#### 通信ケーブル

モジュラーケーブルの製作(別紙参照)

IBM-PC が採用した(Dsub 9P カッコ内)

ピン 番号	信号名		信号方向	
	(EIA)	(ITT-U)	DTE <	> DCE
1	AA	FG Frame Ground	-	
2 (3)	BA	SD Send Data		> txd
3 (2)	BB	RD Receve Data	<	rx
4 (7)	CA	RS Request to Send		> rts
5 (8)	CB	CS Clear to Send	<	cts
6 (6)	CC	DR Data Set Ready	<	
7 (5)	AB	SG Signal Ground		gnd
8 (1)	CF	CD Carrier Detect	<	
20 (4)	CD	ER Equipment Ready		>
22 (9)	CE	CI Calling Indicato	<	

資料